

■ドイツ：RWE、監査役会が国内事業の大規模再編計画を承認

ドイツの大手エネルギー会社 RWE は 2015 年 8 月 10 日、グループの親会社（RWE AG）を持株会社から事業会社に移行し、多くの国内子会社を同社に吸収合併する計画について監査役会の承認を得たと発表した。スリム化により迅速で柔軟な組織を目指す。小売およびエネルギーサービス子会社を吸収する一方、アンバンドル規則を踏まえて配電子会社は残置する。従来型発電、再エネ発電およびエネルギートレーディングの各子会社も今回の再編の対象外とされた。これまでの全事業を統括する COO（最高執行責任者）を見直し、従来型発電、再エネ、ネットワークおよび小売の 4 事業をそれぞれ担当する 4 名を新たに任命する。新体制は 2017 年 1 月から適用される。報道によれば、年間数千万ユーロのコスト削減が見込まれるが、テリウム社長は、強制的な人員削減は行わないとコメントしている。